

 KING JIM

PORTABOOK

取扱説明書
XMC10 USER'S GUIDE

はじめに

このたびは、「ポータブック」をお買い上げいただき、ありがとうございます。「ポータブック」をお使いいただく際には、本書をよくお読みになり、正しくお使いください。また、本書はすぐにお手にできる場所に保管し、紛失しないようご注意ください。「ポータブック」を本書と共に末永くご愛用いただきますよう、心よりお願い申し上げます。

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することはおやめください。
- 本書の内容は予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。
- この製品は、日本国内専用です。
- 本書の作成には万全を期しておりますが、万一誤りなどがございましたら、当社までご連絡ください。
- この製品を、テレビ・ラジオ等の電波受信機に近づけて使用すると、雑音などが発生することがございますのでご了承ください。

ご注意 ● 本機に保存したデータは、長期間・永久的な保存はできません。本機の故障、修理、検査、電池消耗などに起因するデータの損失及び損失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

キングジム、KING JIM、ポータブック、PORTABOOKは、株式会社キングジムの商標または登録商標です。

Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Intel、インテルは、米国およびその他の国におけるIntel Corporationの商標です。

Bluetoothは、Bluetooth SIG Inc.の登録商標です。

HDMI、HDMIロゴ、High-Definition Multimedia Interfaceは、米国およびその他の国々における、HDMIライセンスの商標または登録商標です。

その他記載の会社名及び商品名は、各社の商標または登録商標です。

目次

■ 安全上のご注意…必ずお守りください.....	3
■ 同梱品の確認	8
■ 各部の名称	9
電源インジケータについて	10
光学式フィンガーマウスについて.....	10
ホットキーについて	11
■ トラブルを解消する.....	12
トラブルを解消するまでの流れ.....	12
困ったときは	13
システムを回復する	15
システム回復の方法	15
システムを復元する	16
初期状態に戻す（個人用ファイルを保持する）	18
初期状態に戻す（すべて削除する）.....	20
USB回復ドライブの作成.....	22
USB回復ドライブの使いかた	25
■ お知らせ	26
廃棄するときは.....	26
■ 製品仕様	27

安全上のご注意…必ずお守りください

お使いになる方々や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただきたい事項を次のように表示しています。

本機をご使用のときは、必ず取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、取扱説明書は不明な点をいつでも解決できるように、すぐ取り出して見られる場所に保管してください。

- 表示された指示内容を守らずに、誤った使い方によって起こる危害および損害の度合いを、次のように説明しています。

 危険	この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「死亡または重傷などを負う可能性があり、かつその切迫の度合いが高い危害が想定される」内容を示しています。
 警告	この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示しています。
 注意	この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「軽傷を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を示しています。

- 次の絵表示で、お守りいただきたい内容を区別して説明しています。

	気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	してはいけない「禁止」内容です。
	必ず実行していただきたい「強制」内容です。

本体について

危険

-  高温になる場所（火のそば、ストーブのそば、炎天下）での本機の使用や充電、放置、保管をしないでください。破裂・発火・発熱の原因となります。
-  指定の方法で充電してください。漏液・破裂・発火・発熱の原因となります。
-  バッテリーから漏れた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。
-  釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。漏液・破裂・発火・発熱の原因となります。

警告

-  本機を踏んだり、落としたり、叩いたりなどして、強い力や衝撃を与えないでください。破損することがあり、火災・感電の原因となります。破損した場合には、電源を切り、ポータブック専用窓口へご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
-  本機にお茶、コーヒー、ジュースなどの飲物をこぼしたり、殺虫剤を吹きかけたりしないでください。故障や火災・感電の原因となります。水などをこぼした場合には、電源を切り、ポータブック専用窓口へご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

 本機を分解、または改造しないでください。火災・感電の原因となります。また、本書に記載されていない操作はしないでください。事故や故障の原因となります。

 濡れた手で本機・ACアダプタ・プラグを操作しないでください。故障や火災・感電の原因となります。

 本機やACアダプタなどの温度の高い部分に、長時間触れて使用しないでください。低温やけどの原因となります。

 本機はお子様の手の届かないところに保管してください。思わぬ事故の原因となります。

 異常な音がしたり、煙が出たり、熱が出たり、異臭がした場合は、直ちに本機からケーブル類を抜き、本機の電源を切ってください。そのままご使用になると、火災・感電の原因となります。

 使用中や充電中に液漏れしたり、異臭がしたり、変色するなどの異常がある場合は、直ちに本機からケーブル類を抜き、本機の電源を切ってください。火災・やけど・けが・感電の原因となります。

 本機は防水機能を有しません。万一、水などの液体が背面端子カバーなどから本体に入った場合には、ご使用を中止してください。そのまま使用すると、発火・発熱・故障の原因となります。

 ディスプレイが破損した場合、中の液晶には絶対に触れないでください。万一、口の中に入った場合は、すぐにうがいをして医師に相談してください。目に入ったり、皮膚に付着した場合は、きれいな水で十分に洗った後、医師の診断を受けてください。

 本機の内部に液体、金属物、燃えやすいものなどの異物を混入しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

 本機を火中に投入、または加熱しないでください。発熱、発火、破裂の原因となります。

 充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しないときは、充電を止めてください。漏液・破裂の原因となります。

 ヘッドホン使用時は、音量を上げ過ぎないようにしてください。耳を刺激するような音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響をあたえることがあります。

注意

 長時間の使用による目などの疲労に注意しましょう。

 水、湿気、湯気、ほこり、油煙などの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因になることがあります。

 本機の上に重いものをのせたり、ぐらついた台や傾いたところなど、不安定な場所に本機を置かないでください。落下したり、倒れてけがをするおそれがあります。

 バッテリー内部の液が皮膚に付着した場合は、すぐにきれいな水で十分に洗い流してください。また、液漏れが起こったときは、直ちに本機からケーブル類を抜き、本機の電源を切ってください。

ACアダプタについて

危険

-  付属のACアダプタ、充電用USBケーブルは本機専用です。本機以外の充電には使用しないでください。他の機器を充電しますと、過大電流または過大電圧で充電される場合があります、他の機器の電池を漏液・破裂・発火・発熱させる原因になります。

警告

-  付属のACアダプタ、充電用USBケーブルを使用して充電してください。弊社が動作保証していないACアダプタ、充電用USBケーブルを使用しますと、故障したり、過熱、発煙するおそれがあり、火災・感電の原因となります。
-  ACアダプタ、充電用USBケーブルが何らかの損傷を受けた場合、ただちに使用を中止してください。火災・感電の原因となります。
-  ACアダプタに接続した充電用USBケーブルを引っ張ったり、充電用USBケーブルの上に重いものをのせないでください。火災・感電の原因となります。
-  表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・破裂・感電の原因となります。

無線について

警告

-  病院など、電波使用が禁止されている場所では本機を使用しないでください。本機の電波で電子機器や医療機器（例えばペースメーカー）などに影響を及ぼすおそれがあります。
-  自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近くで使用しないでください。本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤作動による事故の原因となるおそれがあります。
-  航空機内での本機の使用については、各航空会社にお問い合わせください。多くの航空会社では、電子機器の使用に対して規定を設けています。※本機の故障等により事故や社会的な損害などが生じて、弊社ではいかなる責任も負いかねますのでご了承ください。
-  埋め込み型心臓ペースメーカーを装着されている方は、本機をペースメーカー装着部から30cm以上離してご使用ください。電波により影響を受けるおそれがあります。
-  本機の無線機能を使用中に他の機器に電波障害を引き起こした場合、すみやかに無線機能をオフにするか、本機の使用を中止してください。機器に影響を与え、誤作動による事故の原因となるおそれがあります。

注意



補聴器を装着されている方は、本機の使用により、補聴器にノイズなどを引き起こすことがありますので、ご使用前にご確認ください。ノイズにより聴力に悪い影響を与えるおそれがあります。

無線についてのその他注意事項

無線LANについて

- 本機で利用される無線LANの周波数帯は、医療機器や電子レンジなどの産業・科学機器、工場の生産ラインなどで使用される移動体識別装置用の構内無線局や特定小電力無線局と重複しているため、電波の干渉による無線通信の障害が発生するおそれがあります。
- 本機のご利用の前に、干渉範囲内に移動体識別装置用の構内無線局や特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本機の使用中に移動体識別装置用の構内無線局や特定小電力無線局に対して電波の干渉が発生したときは、すみやかに使用を中止してください。

ご利用上の注意

- 接続においては、その他の無線機器の周囲、電子レンジなど電波を発する機器の周囲、障害物の多い場所、その他電波状態の悪い環境で使用した場合に接続が頻繁に途切れたり、通信速度が極端に低下したり、エラーが発生したりする可能性があります。
- 本機はすべての無線LAN機器との接続動作を保証するものではありません。
- 当社に故意または重大な過失がある場合を除き、無線機器によるデータ通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社は一切の責任を負いかねます。
- 無線LANは2.4GHz無線機やBluetooth機器と同じ周波数帯域であり、同じ周波数帯域を使用する他の機器に影響を与えることがあります。接続に支障がある場合は、お使いのBluetooth機器、無線LANのいずれかの使用を一旦中止してください。

Bluetoothについて

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、工事設計認証を受けています。従いまして、本機をご使用するときには無線局の免許は必要ありません。本機は2.4GHz周波数帯域を使用しています。

Bluetoothは2.4GHz無線機や無線LAN機器と同じ周波数帯域であり、同じ周波数帯域を使用する他の機器に影響を与えることがあります。

- 本機を使用する前に、近くで「他の無線局*」が運用されていないか確認してください。
- 万一、本機と「他の無線局*」との間に電波干渉が発生した場合は、使用場所を変更するか、または本機の使用を停止してください。

* 「他の無線局」とは、本機と同じ2.4GHz帯を使用する産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の生産ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局を示します。



注意

- 本機が汚れた場合は柔らかい布で乾拭きしてください。ベンジン／シンナー／アルコール／洗剤などを用いると外装や文字が変質するおそれがありますので、使用しないでください。
- 本機で使用しているディスプレイは、非常に高度な技術で作られています。一部に点灯しないドット（点）または、常時点灯するドットが存在する場合があります。故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 本機をエアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。急激な温度変化により結露すると、内部が腐食し故障の原因となります。
- キーボード部をつかんで持ち上げたり、持ち歩いたりしないでください。
- キーボードを開閉する際には、指などがはさまれないようにご注意ください。
- キーボードを開いた状態でキーボードを持って持ち運ばないでください。破損の原因となることがあります。
- 本機背面に端子類が差し込まれた状態で、背面端子カバーを無理に閉じないでください。無理な力を加えますと、故障の原因となることがあります。
- 磁気カード（キャッシュカード、クレジットカード、プリペイドカードなど）と一緒に持ち歩いたり、保管しないでください。本機の磁気により磁気カードが使えなくなることがあります。
- 記録メディアに保存しているデータは、定期的にバックアップをとって保存してください。故障、修理、システムの復元、その他の取り扱いにより、データの書き込み・読み出しの失敗、記憶内容が消失する可能性があります。その場合、変化、また消失したデータの修復や生じた損害について一切責任を負いません。
- 航空機内での本機の使用については、各航空会社にお問い合わせください。多くの航空会社では、電子機器の使用に対して規定を設けています。
- 本機の清掃などの目的でエアスプレーおよびアルコールなどを含むスプレーは使用しないでください。スプレーから噴射される強い空気によって、ほこりなどが本機内部に侵入し、故障などの原因となることがあります。

- ディスプレイを強く押す、叩くなど、故意に強い衝撃を与えたり、強くこすったりしないでください。傷の発生や、破損の原因となることがあります。
- キーボードの開閉時は必ず両手でそれぞれ左右の端を持ち、本体と水平に動かしてください。無理な力を加えますと、故障の原因となることがあります。キーボードの開閉で異常を感じたときは、無理に開閉しないで、ポータブック専用窓口にお問い合わせください。
- 無理な力がかかると、ディスプレイや内部の基板などが破損し故障の原因となりますので、カバンの中で重いものの下になつたりしないよう、ご注意ください。外部に破損がなくても保証の対象外となります。
- 磁気（磁力）で医療電子機器や周辺の電子機器等に影響を及ぼす恐れがありますので近づけないでください。ペースメーカー等に磁気（磁力）の影響をあたえることがあります。

内蔵バッテリーについて

- バッテリーには寿命があります。充電しても機能が回復しない場合は寿命ですので、バッテリーの交換修理が必要です。劣化したバッテリーを使用し続けると破裂・発火・発熱の原因となります。なお、寿命は使用状態によって異なります。
- バッテリーは、お客さまご自身で取り外しや交換をおこなわないでください。バッテリーの交換は、ポータブック専用窓口にお問い合わせください。
- バッテリーは消耗品です。バッテリーの充電性能が低下した状態でそのまま使用し続けると、急に電源が切れることがあり、データの書き込み・読み出しの失敗、記憶内容の消失、故障などのおそれがあります。
- はじめてご使用になるときや、長時間ご使用にならなかつたときは、ご使用前に充電してください。
- 長期間使用しない場合は、高温多湿を避けて保管してください。また、電池の劣化を防ぐために3～5か月に一度充電してください。
- バッテリーは一般的な特性として、低温時には性能が低下します。低温環境下でお使いになるときは、本機を冷やさないようにしてください。

同梱品の確認

はじめに、同梱品をご確認ください。

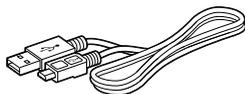
本体



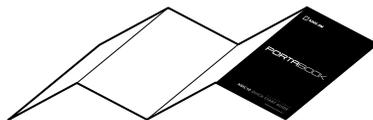
取扱説明書(本書)



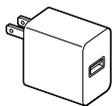
充電用USBケーブル
(A-microBタイプ)



クイックスタートガイド



ACアダプタ



保証書

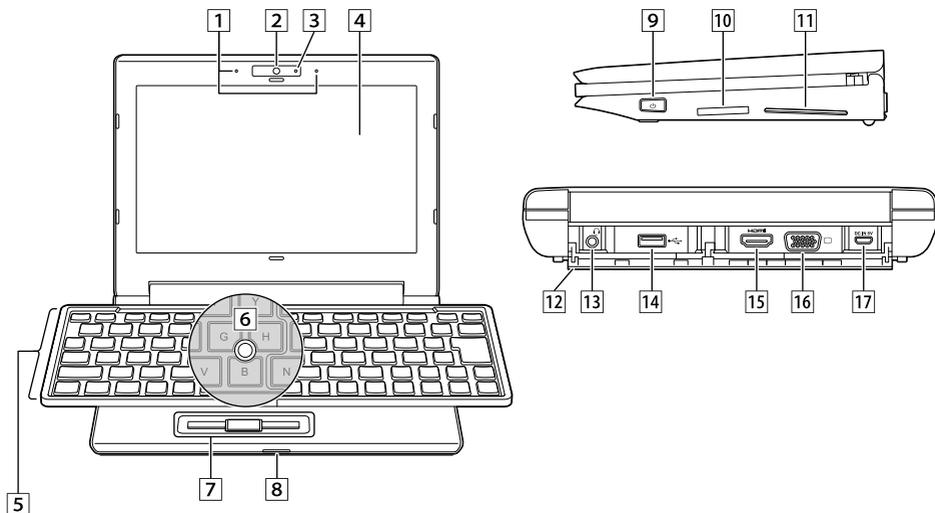


Office 365 サービス プロダクトキー
カード

ご注意

- 同梱品が梱包されていた個装箱は捨てないでください。
修理ご依頼品をお送りいただく際、個装箱のご利用をお願いします。

各部の名称



- ① マイク
- ② カメラ
- ③ カメラインジケータ
カメラ使用中に点灯します。
- ④ ディスプレイ
- ⑤ キーボード
キーボードを閉じると、すべてのキー入力が無効になります。キー入力を可能にするには、キーボードを完全に開いてください。
- ⑥ 光学式フィンガーマウス
指で触れて動かすと、画面上的のポインタが動きます。左ボタン／センターボタン／右ボタンと組み合わせて、マウスのように操作できます。
- ⑦ 左ボタン／センターボタン／右ボタン
左・右ボタンは、マウスの左・右クリックと同じ動きをします。センターボタンを押しながら光学式フィンガーマウスを動かすと、画面をスクロールできます。
- ⑧ 電源インジケータ
本機の電源および充電の状態を白とオレンジの点灯／点滅で表します。
詳しくは「電源インジケータについて」(10ページ)をご覧ください。
- ⑨ 電源ボタン
- ⑩ SDメモリーカードスロット
- ⑪ ステレオスピーカー
- ⑫ 背面端子カバー
- ⑬ ヘッドセット／ヘッドホン端子
※ 外部マイクをご利用の際は4極ミニプラグ対応のヘッドセットをご利用ください。
- ⑭ USB2.0ポート
- ⑮ HDMI出力端子
- ⑯ VGA出力端子
- ⑰ micro USB充電ポート
同梱のACアダプタと充電用USBケーブルを接続して本機を充電します。

電源インジケータについて

本機の電源および充電の状態を表します。

電源がオンのときは、白く点灯します。

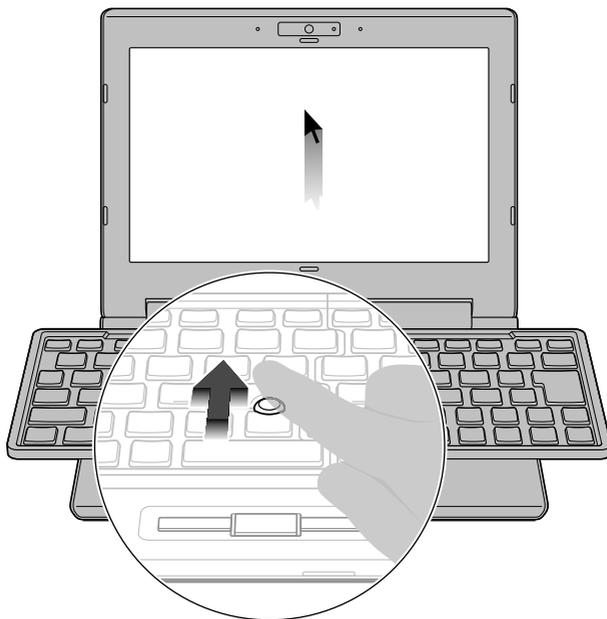
充電中は、電源オン/オフに関わらずオレンジ色に点灯します。

- ヒント**
- 省電力(スリープ)状態のときは、インジケータがゆっくりと点滅します。
 - バッテリーが少なくなると、インジケータがオレンジ色に点滅します。充電してください。

光学式フィンガーマウスについて

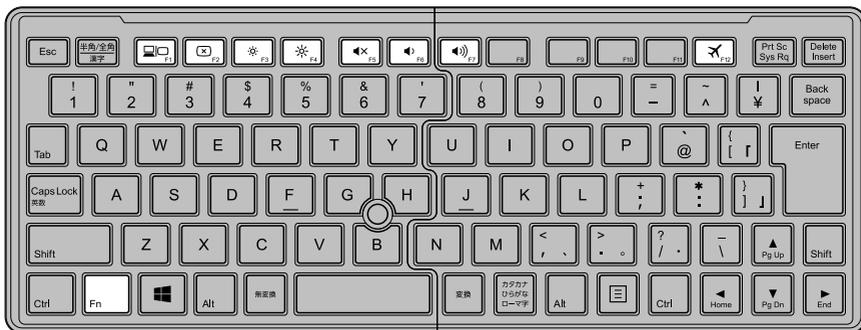
光学式フィンガーマウスに触れた指を動かすと、通常のマウス操作と同様に画面上のポインターを動かすことができます。

また、キーボードの下のセンターボタンを押しながら光学式フィンガーマウスに触れた指を動かすと、画面をスクロールできます。



ホットキーについて

Fnキーを押しながら指定のファンクションキーを押すと、以下の機能が実行されます。



 ディスプレイ切り換え (LCD (本機の画面) / 外部ディスプレイ)
HDMIなどで接続した機器へディスプレイの出力先を切り換えます。

 ディスプレイ オン/オフ
本機の電源を切らずにディスプレイのみオン/オフします。

 本機のディスプレイの輝度を下げる

 本機のディスプレイの輝度を上げる



 ミュート (消音)

 音量を下げる

 音量を上げる

 機内モード
無線機能 (無線LANとBluetooth) を一度にオン/オフします。

トラブルを解消する

トラブルを解消するまでの流れ

操作に困ったときや、本機の動作がおかしいときは、次の手順を試して解決してください。それでも解決しない場合は、ポータブック専用窓口にお問い合わせください。周辺機器やソフトウェアの操作方法やトラブルについては、それぞれのメーカーにお問い合わせください。

操作方法がわからない場合は

- 1 次ページから始まる「困ったときは」を確認する
- 2 周辺機器やソフトウェアの取扱説明書を確認する

本機の動作がおかしい場合は

- 1 本機を再起動する
- 2 次ページから始まる「困ったときは」を確認する
- 3 次のいずれかの方法でシステムを回復する
「システムを回復する」(15ページ)を参考に、いずれの方法をおこなうかを判断してください。
 - システムの復元
 - 初期状態に戻す(個人用ファイルを保持する)
 - 初期状態に戻す(すべて消去する)

それでも解決しない場合は

ポータブック専用窓口にお問い合わせる

困ったときは

■ 起動しない／ログインできない

バッテリー残量が少なくなっている、もしくは完全に放電していませんか？

⇒ バッテリーの充電量が少なくなっている場合は充電してください。

付属のACアダプタをご使用ですか？

⇒ 付属のACアダプタ、充電用USBケーブルを使用して充電してください。

接続している周辺機器がエラーを起こしていませんか？

⇒ USB接続している周辺機器などをすべて取り外してから、本機の電源を入れ直してください。

正しいパスワードを入力しましたか？

⇒ パスワードはアルファベットの大文字と小文字を区別して記憶しています。キーボードのキャップスロック (CapsLock) キーでアルファベットの大文字と小文字を正しく切り換えてパスワードを入力してください。

Windowsを起動する際にシステムエラーを起こし、青い画面になっていませんか？

⇒ 青い画面が表示され操作ができない場合は、電源ボタンを5秒以上押ししてWindowsを強制終了させてから再度電源を入れ直してください。

■ 電源が落ちる／フリーズする

バッテリー残量が少なくなっている、もしくは完全に放電していませんか？

⇒ バッテリーの充電量が少なくなっている場合は充電してください。

付属のACアダプタをご使用ですか？

⇒ 付属のACアダプタ、充電用USBケーブルを使用して充電してください。

本機が省電力 (スリープ) 状態になっていませんか？

⇒ 何も操作をしない状態で一定時間が経過すると、自動的に省電力 (スリープ) 状態に移行することがあります。設定を確認してください。

本機の温度が高くなっていませんか？

⇒ 本機内部の温度が一定以上に達すると、自動的にシステムが停止することがあります。本機内部の温度が下がるのをお待ちください。

■ システム修復ディスクを作りたい

- ⇒ Windows 10では、システム修復ディスクとしてUSBフラッシュドライブを使用した回復ドライブを作成できます。作成方法について詳しくは、「USB回復ドライブの作成」(22ページ)を参照してください。

■ 光学式フィンガーマウスが使用できない

キーボードロックが解除されていますか？

- ⇒ 本機ではキーボードを閉じた時にすべてのキーがロックされます。ロックを解除するには、キーボードを完全に開いてください。

■ キーボードの入力ができない

キーボードロックが解除されていますか？

- ⇒ 本機ではキーボードを閉じた時にすべてのキーがロックされます。ロックを解除するには、キーボードを完全に開いてください。

システムを回復する

システムを回復するには、システムを復元する方法と初期状態に戻す方法があります。処理の内容と処理後の本機の状態がそれぞれ異なりますので、状況に応じて回復方法を選択してください。

■ システム回復の方法

システムの復元

処理内容

保存されている過去の復元ポイントの状態へ戻します。
復元ポイントはデバイス・ドライバやソフトウェアのインストール、Windows Updateなどのタイミングで自動的に作成される場合と、ユーザーが任意のタイミングで作成することも可能です。

どんなときにおこなうか

操作方法

- ソフトウェアや周辺機器などのドライバーをインストールしたことにより本機の動作が不安定になったとき

16ページ

初期状態に戻す

処理内容

Windowsをインストールし直して、システムを初期状態に戻します。
初期状態に戻す際、ユーザーアカウント情報やネットワーク設定（ドメイン情報など）、一部のシステム設定などの個人ファイルを保持するかすべて削除するかを選べます。

個人ファイルを保持する場合

どんなときにおこなうか

操作方法

- 本機の動作が不安定になったとき

18ページ

すべて削除する場合

どんなときにおこなうか

操作方法

- 本機の動作が不安定になったとき
- 本機を譲渡または廃棄するとき

20ページ

■ システムを復元する

復元とは

Windowsは定期的にシステムの状態を自動で記憶しています。これを復元ポイントと呼び、ソフトウェアや周辺機器などのドライバをインストールしたことによって本機の動作が不安定になった場合に、正常に動作していた時点の復元ポイントにシステムの状態を戻すことができます。

システムの復元では、個人用のデータや設定が削除されることはありませんが、復元ポイント以降におこったシステムの変更はキャンセルされ元に戻る場合があります。また、作業中のデータを保存していない場合は削除されます。

ヒント ● ソフトウェアをインストールする前などに、復元ポイントを手動で作成することもできます。

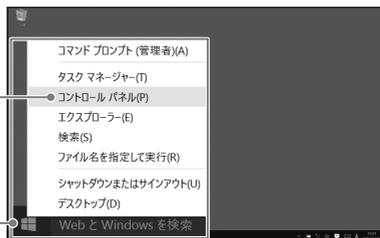
ご注意 ● システムの保護が無効になっていると、この機能を使用できません。あらかじめシステムの保護が有効になっていることを確認してください。
確認方法は、[コントロールパネル] – [回復] – [システムの復元の構成] – [構成] をクリックします。

操作手順 (説明で使用する画面は、Windows10のものを使用しています。お使いの実際の画面と異なる場合があります)

1 スタートメニューを右クリックし、
[コントロールパネル] をクリックする。

2 クリック

1  を右クリックして



2 [回復] をクリックする。

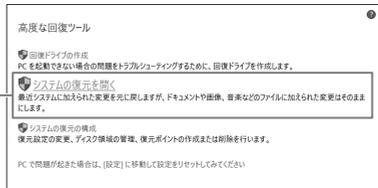
クリック



ヒント ● すべてのコントロールパネル項目が表示されていない場合は、表示方法を [カテゴリ] から [大きいアイコン] または [小さいアイコン] に変更すると、すべてのコントロールパネル項目が表示されます。

3 [システムの復元を開く]をクリックする。

クリック



4 [次へ]をクリックする。

クリック



5 希望の復元ポイントを選択し、[次へ]をクリックする。

① 選択して

② クリック

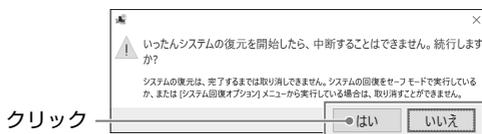


6 内容を確認して [完了] をクリックする。

クリック



7 [はい] をクリックする。



復元を開始し、本機が再起動され、正常に復元したことを知らせるメッセージが表示されます。

システムの復元後におこなうこと

本機の調子に戻っていることが確認できた場合は、新しくインストールしたソフトウェアや周辺機器のドライバをインストールせずにソフトウェアや周辺機器の取扱説明書をご確認ください。

本機の調子に戻っていない場合は、さらに以前の復元ポイントまで遡るか、初期状態に戻してください。

■ 初期状態に戻す (個人用ファイルを保持する)

初期状態に戻す (個人用ファイルを保持する) とは

Windowsをインストールし直してシステムを正常な状態に戻します。個人用ファイルを保持する場合は、ユーザーアカウントなどの設定やドキュメントなどの個人用データは削除されません。

ソフトウェアについては、お買い上げ時にあらかじめインストールされていたソフトウェアやWindowsストアからインストールしたソフトウェアは、初期状態に戻す過程で再度インストールされますが、WebサイトやDVDなどからインストールしたソフトウェアは削除されません。

- ご注意**
- 初期状態に戻している途中は、処理を中止したり電源を切ることはできません。また、時間が長くかかりますので、時間に余裕をもっておこなうようにしてください。
 - 初期状態に戻すときは、本機を電源に接続してください。

初期状態に戻す前に

初期状態に戻すと、Windowsストア以外のWebサイトやDVDなどからインストールしたソフトウェアは削除されますので、再インストールの準備をしておいてください。なお、お買い上げ時にあらかじめインストールされていたソフトウェアやWindowsストアからインストールしたソフトウェアは自動で再インストールされますが、設定は初期値に戻りますので再設定できるように情報を控えておいてください。

- ヒント**
- 初期状態に戻した後に、削除されたソフトウェアの一覧がデスクトップに保存されます。

操作手順（説明で使用する画面は、Windows10のものを使用しています。お使いの実際の画面と異なる場合があります）

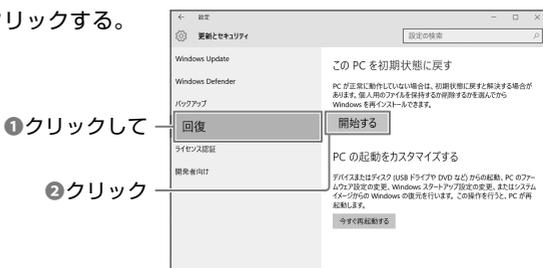
1 スタートメニューから [設定] をクリックする。



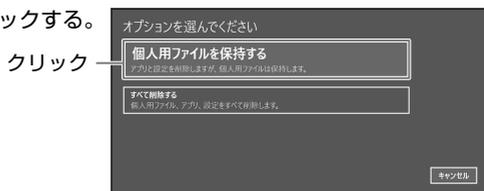
2 [更新とセキュリティ] をクリックする。



3 [回復] 画面で [開始する] をクリックする。



4 [個人用ファイルを保持する] をクリックする。



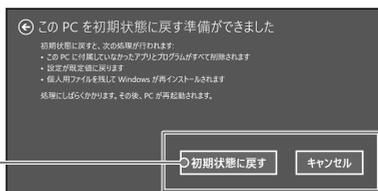
5 再インストールが必要なアプリケーションを確認して、[次へ]をクリックする。

クリック



6 [初期状態に戻す]をクリックする。

クリック



自動で再起動し、処理が開始されます。

初期状態に戻した後におこなうこと

初期状態に戻すことによってセキュリティソフトが削除された場合は、再度インストールして設定や更新をおこなってください。

同様に、削除されたソフトウェアがあればインストールし直してください。

■ 初期状態に戻す（すべて削除する）

初期状態に戻す（すべて削除する）とは

一度本機内の全データを消去し、Windowsをインストールし直してお買い上げ時の状態に戻します。[すべて削除する]を選ぶと、個人用のデータはすべて消去され、設定も残りません。ソフトウェアについては、お買い上げ時にあらかじめインストールされていたソフトウェアのみ初期状態に戻すの過程で再度インストールされますが、WindowsストアからインストールしたソフトウェアやWebサイト、DVDなどからインストールしたソフトウェアは削除されます。

ご注意

- 初期状態に戻している途中は、処理を中止したり電源を切ることはできません。また、時間が長くなかかりますので、時間に余裕をもっておこなうようにしてください。
- 初期状態に戻すときは、本機を電源に接続してください。

初期状態に戻す前に

初期状態に戻すと、音楽や動画、これまでに作成したドキュメントやメールのやり取りなど個人用のデータはすべて消去されます。初期状態に戻す前に、必要なデータを外付けのハードディスクやDVDなどにバックアップしてください。

また、お買い上げ時にあらかじめインストールされていたソフトウェア以外はすべて削除されますので、再インストールの準備をしておいてください。

なお、お買い上げ時にあらかじめインストールされていたソフトウェアは自動で再インストールされますが、設定は初期値に戻りますので再設定できるように情報を控えておいてください。

ご注意

- 本機に記憶させていた設定や、パスワードなども必ず控えておいてください。

操作手順（説明で使用する画面は、Windows10のものを使用しています。お使いの実際の画面と異なる場合があります）

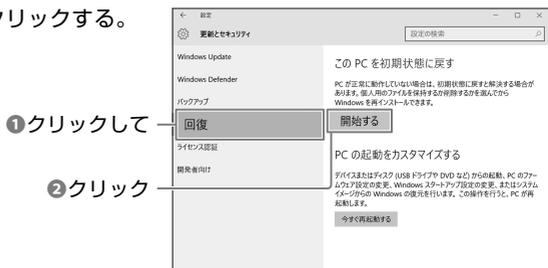
1 スタートメニューから [設定] をクリックする。



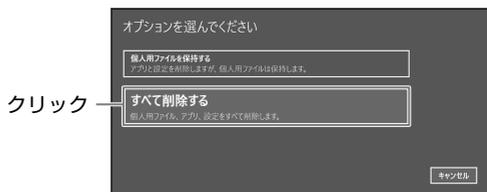
2 [更新とセキュリティ] をクリックする。



3 [回復] 画面で [開始する] をクリックする。

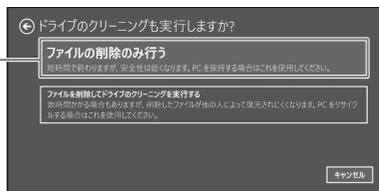


4 [すべて削除する] をクリックする。



- 5 ドライブのクリーニングについて、どちらかを
をクリックする。

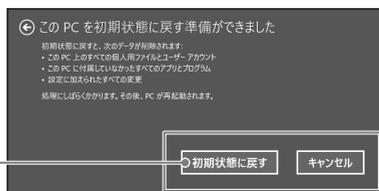
クリック



- ヒント** • 動作が不安定なために初期状態に戻す場合は、[ファイルの削除のみ行う] を選びます。また本機を譲渡または廃棄するために初期状態に戻す場合は、[ファイルを削除してドライブのクリーニングを実行する] を選びます。

- 6 [初期状態に戻す] をクリックする。

クリック



自動で再起動し、処理が開始されます。

- ヒント** • 処理が完了すると、本機はお買い上げ時の状態に戻りますので、Windowsの
セットアップからおこなってください。

初期状態に戻した後におこなうこと

セキュリティソフトや初期状態に戻すことによって削除されたソフトウェア、周辺機器のドライバを再度インストールし、必要に応じて設定や更新をおこなってください。また、外付けのハードディスクやDVDなどにバックアップしたデータがあれば戻します。本機を譲渡または廃棄する場合は、必要に応じ専用ソフトウェアまたはサービスによってデータを完全に読めなくすることをお勧めします。

USB回復ドライブの作成

USB回復ドライブとは

USB回復ドライブを使用すると、起動できなくなった本機を初期状態に戻したり、問題のトラブルシューティングをおこなったりできます。USBドライブにシステムファイルをバックアップすると、このドライブを使用してWindowsを再インストールすることもできます。

- ヒント** • USB回復ドライブの作成には、USBフラッシュドライブ (USBメモリなど) が必要になります。USB回復ドライブを作成する過程でプログラムが必要な容量を判断しますので、容量を確認してからUSBフラッシュドライブをご用意ください。

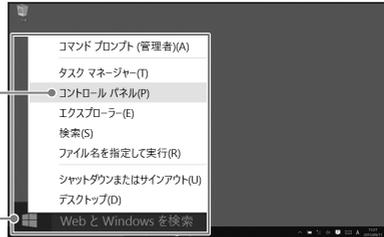
- ご注意** • USB回復ドライブを作成する場合、回復のためのデータ以外はすべてUSBフラッシュドライブから削除されます。フォーマット済みのものか、新しいUSBフラッシュドライブをご用意ください。

操作手順 (説明で使用する画面は、Windows10のものを使用しています。お使いの実際の画面と異なる場合があります)

- 1** スタートメニューを右クリックし、
[コントロールパネル]をクリックする。

2 クリック

- 1**  を右クリックして



- 2** [回復]をクリックする。

クリック

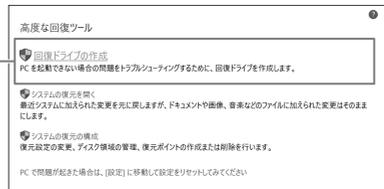


- ヒント** • すべてのコントロールパネル項目が表示されていない場合は、表示方法を[カテゴリ]から[大きいアイコン]または[小さいアイコン]に変更すると、すべてのコントロールパネル項目が表示されます。

- 3** [回復ドライブの作成]をクリックする。

クリック

管理者パスワードの入力や選択内容の確認を求められることがあります。

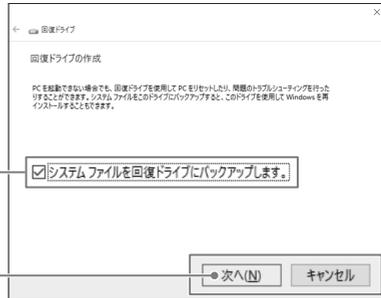


- ヒント** • [このアプリがPCに変更を加えることを許可しますか?]という画面が表示されたら[はい]をクリックします。

4 システムファイルを回復ドライブにバックアップする場合は、チェックボックスにチェックを入れ、[次へ] をクリックする。

①チェックして

②クリック



5 回復ドライブを作成するUSBフラッシュドライブを選択し、[次へ] をクリックする。

①選択して

②クリック



ヒント • 使用可能なドライブが表示されない場合は、画面に表示される容量以上のUSBフラッシュドライブを接続してください。

6 [作成] をクリックする。

回復イメージと必要な回復ツールがUSBフラッシュドライブにコピーされます。コピーに時間がかかる場合があります。

クリック



- 7** 処理が終了したら [完了] をクリックして、USBフラッシュドライブを取り外す。



■ USB回復ドライブの使いかた

本機が起動できなくなった場合でも、以下の手順でUSB回復ドライブからトラブルシューティングがおこなえます。

- 1** 本機にUSB回復ドライブを接続し、本機の電源を入れる。
- 2** 起動直後に「F2 (ディスプレイ消灯) キーのイラスト」を「トン、トン、トン・・・」と連続的に押します。
Bootデバイスを選択する画面が表示されるので、「UEFI : USBフラッシュメモリーの型番」を選択し、「Enterキー(イラスト)」を押します。
- 3** キーボードレイアウトの選択画面で [日本語] をクリックする。
※画面に「日本語」が表示されるまで、「その他のキーボードレイアウトを表示」をクリックする必要があります。
- 4** オプションの選択画面で [トラブルシューティング] をクリックする。
- 5** トラブルシューティング画面でおこないたい項目をクリックする。

お知らせ

廃棄するときは

■ 個人・ご家庭から本機を廃棄する場合

本機はPCリサイクル対象製品には該当しません。

お住まいの各自治体の処理に従い、適切に廃棄をお願いします。なお、自治体によっては、廃棄費用をご負担いただく場合があります。

本機にはリチウムポリマーバッテリーが含まれています。家庭のごみと一緒に廃棄しないでください。

製品仕様

OS	Windows 10 Home 64ビット*1
CPU	
CPU名	インテル® Atom™ x7-Z8700 プロセッサ
動作周波数	1.6GHz(インテル® バースト・テクノロジー対応:最大2.4GHz)
コア/スレッド	4コア/4スレッド
キャッシュメモリ	2MB(2次キャッシュ)
メインメモリ	
標準	2GB*2
仕様	LPDDR3 - 1600
表示機能	
液晶ディスプレイ	8型TFTカラー液晶
表面仕様	ノングレア
解像度	1,280×768ドット
グラフィックス機能	インテル® HDグラフィックス(CPU内蔵)
外部ディスプレイ出力	HDMI:最大3,840×2,160ドット(4K出力/30Hz) VGA:最大2,048×1,536ドット
記憶装置	eMMC 32GB(eMMC 5.0)*3
サウンド機能	
スピーカー	ステレオスピーカー(1W×2)
マイク	アレイマイク
Webカメラ	約200万画素
通信機能	
無線LAN	IEEE 802.11b/g/n準拠
Bluetooth®機能	Bluetooth 4.0 + EDR準拠
入力機能	
キーボード	85キー/日本語配列
キーピッチ	18mm(横)・15.5mm(縦)
キーストローク	1.5mm
ポインティングデバイス	光学式フィンガーマウス

インターフェイス	
外部ディスプレイ出力	HDMI出力端子×1、VGA出力端子×1*4
USBポート	USB2.0×1
カードスロット	SDメモリーカードスロット×1*5
オーディオ	ヘッドセット/ヘッドホン端子×1
電源	ACアダプタまたは内蔵リチウムポリマーバッテリー
バッテリー駆動時間	約5時間*6
バッテリー充電時間	約3時間
消費電力 (標準時/最大時/スリープ時)	約3.5W / 約13.5W / 約0.5W
省エネ法に基づく エネルギー消費効率*7	S区分 0.061 (AA)
外形寸法 (※突起部含まず)	約204 (W) × 153 (D) × 34 (H) mm (折りたたみ時) 約266 (W) × 153 (D) mm (使用時)
質量	約830g
動作環境	温度5～35℃ 湿度30～80% (ただし結露しないこと)
保存環境	温度-10～45℃ 湿度5～80% (ただし結露しないこと)
セット内容	XMC10本体、ACアダプタ、充電用USBケーブル、 取扱説明書、クイックスタートガイド、保証書、 Office 365 サービス プロダクトキー カード*8

*1 プレインストールされているOS以外はサポート対象外です。

*2 メモリの増設や交換はできません。

*3 OSはeMMCにインストールされています。

*4 すべての機器との動作を保証するものではありません。

*5 SD/SDHC/SDXC/UHS- I 対応。

*6 JEITA/バッテリー動作時間測定法 (Ver.2.0) に基づいたもの。使用状況や設定などにより変動します。

*7 エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により、測定された消費電力を省エネ法で定める複合理論性能 (単位: ギガ演算) で除したものです。2011年度基準で表示しております。省エネ基準達成率の表示語Aは達成率100%以上200%未満、AAは達成率200%以上500%未満、AAAは達成率500%以上を示します。

*8 本製品にはWord Mobile、Excel Mobile、PowerPoint Mobile、OneNote がプレインストールされています。

Office Mobileの商用利用権はOffice 365サービスの1年間の利用期間を過ぎるとなくなります。

アフターサービス

■ 保証書

保証書と裏面の保証規定の内容をよくご覧のうえ、大切に保管してください。

■ 修理に出されるときは

保証期間内は、保証規定に基づいて修理いたします。ポータブック専用窓口までお問い合わせください。

ご注意 • 修理をご依頼の際は、本体が同梱されていた個装箱を使つての返送をお願いしております。

■ お問い合わせの前に

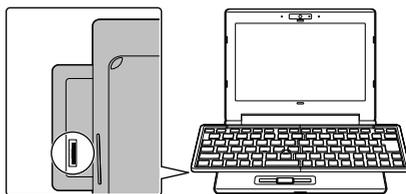
解決の重要な手がかりとなりますので、お問い合わせいただく前に次の情報をお手元にご用意ください。

- 型番
- お買い上げ日
- シリアルナンバー
- トラブルの症状

また、操作についてのお問い合わせの場合は、実際に操作を進めながら確認できるように、本機を手の届くところにご用意ください。

シリアルナンバーについて

シリアルナンバーは、キーボード裏面のバーコード横にある8桁の英数字です。キーボードを開いた状態でのみ確認できます。シリアルナンバーを確認する際は、本体を落とさないように十分気をつけてください。



■ お問い合わせ

アフターサービスについてご不明な点やご相談は、ポータブック専用窓口にお問い合わせください。

フリーダイヤル (全国共通)

ポータブック

**専用
窓口**



0120-883-911

携帯電話からの場合 **0570-010-919** ※通話料お客様負担

受付時間：平日／午前9:00～午後6:00

(ただし、祝祭日、年末年始、弊社指定休業日を除く)

ポータブック XMC10 取扱説明書

2016年 6月 第2版

株式会社キングジム

〒101-0031 東京都千代田区東神田二丁目10番18号

<http://www.kingjim.co.jp/>

XMC10

